

4 議事録

- 教育部長 おはようございます。
ただいまから令和3年第8回始良市教育委員会定例会を開催いたします。
本日の定例会におきましては、報告案件及び審査議案もございませんので、
行事予定の確認まで終了しましたら「特別支援教育の現状について」をテーマとした委員研修会を計画しましたので、よろしくお願い申し上げます。それでは、これ以降の議事進行につきましては、小倉教育長にお願いいたします。
- 教育長 それでは会議に入ります。本会議は、公開を原則としておりますが、本日の会議を公開することにご異議ございませんでしょうか。
- 全員 はい。
- 教育長 異議なしと認めます。よって、本日の会議は公開することとします。
まず日程第1「議事録の承認・署名」についてでありますけれども、皆さん前回会議の議事録の承認・署名は、お済みでしょうか。
- 全員 はい。
- 教育長 それでは、前回議事録は承認されたものと認めます。
次に日程第2「委員及び教育長の報告」についてでございますけれども、委員の皆様方から、何かご報告はございますか。
- 委員 おはようございます。7月29日に小学校の市の水泳記録会に行かせていただきました。コロナ禍を受け、昨年実施されずにとっても残念だったという声も聞いているところでしたが、本年度は保護者の応援はなく、6年生のみということで実施されました。種目も精選されて、コロナ対策の声かけなども徹底されていると思いました。
学校によっては声を出さない応援ということで手拍子をしたりして、工夫されていたと思います。
新記録はなくて残念でしたけれども、子どもたちが一生懸命泳いでいる姿にとっても感動して帰ってきたところでした。ありがとうございました。以上です。
- 教育長 ほかにありませんか。

委員

8月2日に、県庁で行われました市町村教育委員会の研修会に行ってみりました。今年はコロナ下でありまして、A班、B班に分かれて実施されました。始良市は午後からのB班に参加させていただきました。20市町39名の参加でした。

その中で冒頭、県の教育長先生からお願いとして3点挙げられました。

1つは、いじめについてということで、安心・安全な教育環境の確保を行って欲しいということで、いじめといじめの根となるものは、積極的な認知をお願いしたいということでした。

2つ目に、確かな学力の定着をお願いしたい。全国平均を超えるようにお願いしますということでした。令和元年度は数学が弱かったという報告がありました。

3つ目に、教職員の服務規律の徹底、不祥事の根絶に向けてしっかりと対策を立てていただきたいということでした。

それから、G I G Aスクール構想に係る各種補助事業については、国の補助金がまだ余っているので必要があれば申請していただきたいということでした。

いじめ問題、不登校対策についても各市町から活発な意見がありまして、十分研修させていただきました。ありがとうございました。以上です。

教育長

ほかにありませんか。

なければ、私の方から、始良市が取り組んでおります市教育委員会の行事については、課長の方からその他の報告のところで報告させていただきたいと思います。

水泳記録会の方は、やはり今一つ盛り上がりには欠けたようでした。

6年生だけで、しかも拍手だけで声援もない、保護者もないという状況でさびしい記録会でありましたけれども、やるべきことはやらなくてはならない。このように一つ一つの行事を確実に取り組んでいきたいと考えています。G I G Aスクールに関しては、今、研修に取り組んでおります。8月2日の市教育フォーラムの中で、文部科学省のG I G Aスクール関係の委員をしておられる山本朋弘先生に来ていただきました。もともと鹿児島大学の教育学部におられたのですが、今年の4月から福岡の中村学園大学に移っておられます。その先生に、始良市教職員全てを対象にした講演会をしていただきました。

7月29日は小学校を対象に、8月23日は中学校を対象に、指導力向上セミナーを実施しました。具体的に授業のどういう場面でタブレットをどのように使っていくかということなどを研修しました。

なぜ一緒にやらないかと言いますと、中学校は7月末に中学校総体があって、ほとんどそちらの方にかかりっきりになりますので、小学校を7月中に、中

学校を8月に実施したということです。
やはり一つ一つやっていかないと、非常に進む学校とそうでない学校とで分かれてくると、子どもたちが犠牲になってしまいます。
そういった意味で、ある程度堅実に研修を重ね、技術を習得できるようにやっているということです。
夏休みが一番大きな研修の機会でありますので、今実施しているところです。
私の方からは以上でございます。
次に日程第3、事務連絡になります。

事務局

(学校教育課長) 学校教育課からです。「科学施設視察 in 九州旅程の概要」というプリントをご覧ください。
スーパーサイエンス総合推進事業の一環で、サイエンスリーダー講習というのがございます。その中で、例年は東京に科学施設の視察に行っているのですけれども、このコロナ禍の中、今年は九州内の科学施設を巡ろうと計画をしておりました。8月4日から8月5日の1泊2日、参加者は中高校生14名、引率3名、計17名です。8月4日が福岡市科学館見学、北九州市の日産自動車工場見学、5日が北九州市立大学ひびきのキャンパスでの講義、いのちのたび博物館見学という行程を組んでおりました。しかし福岡県のコロナの感染状況が悪化いたしまして、その動向を見まして7月30日に中止を決めたところでございます。バスを貸し切っていくということ、しかも17名に対して大型バスで計画しておりました。しっかりコロナ対策をとった上で計画していたのですけれども、やはり600名、700名の感染者が出ているという状況の中では、危険を冒すことはできないという判断で、早めに中止を決定したところでございます。以上報告でした。

(社会教育課長) 社会教育課です。今の資料の裏面をご覧ください。
令和3年度の未来特使団の事業の説明をさせていただきます。
こちらは8月2日から3泊4日で実施をいたしました。異年齢による青少年育成のため未来特使団を結成して、チャレンジする心や、自然を愛護し感動する心を養うというような目的で、毎年実施しているところです。
例年、富士登山を実施しているのですが、年度当初で登山道の開通の有無の情報がなかったものですから、富士登山に代わるものということで、種子島・屋久島を計画した次第です。
日程としましては、8月2日に出港しまして、種子島鉄砲館、JAXAの施設である増田宇宙通信所を見学しました。その後、弥生古墳時代の墓で、美しい貝殻の装飾品が特徴的な広田遺跡を見学しました。
その後、鉄砲伝来の地、門倉岬を見て宿泊し、次の日は、JAXAの宇宙科学技術館を見学し、その後屋久島に入りました。屋久杉自然館におきまして

は、屋久杉の箸づくり体験と屋久島の自然などについての講義を受け、その後、屋久島世界遺産センターにまいりました。こちらは環境省の施設ですが、世界遺産についての説明がございました。

翌日、縄文杉登山を終日行いました。往復約 22 キロメートルを 11 時間かけて、団員 20 名全員完歩できたところでした。

翌日は安房川リバーカヤック体験をして、屋久島から鹿児島島に帰ったというところがございます。

小学生 8 名、中学生 9 名、高校生 3 名の計 20 名でしたが、高校生・中学生がリーダーシップを取り、小学生を引っ張って、この 4 日間頑張っ取り組みました。

8 月 17 日には、未来特使団の市長表敬訪問を予定しております。簡単ですが説明を終わります。

教育長

実施できた事業、中止した事業とあります。それぞれ状況を見て、宿泊を伴ったり、キャンセル料を伴ったりするものは、ある程度時期を見て早めに判断をします。

この未来特使団も、帰ってきてすぐに種子島が来訪禁止になるのではないのかという状況があります。本当に予断を許さない状況だと思えます。

委員の皆様から何かございませんか。

なければ最後に行事予定の確認に入ります。

事務局

(各課より順次説明)

教育長

行事予定の説明がございましたが、皆様方からご質問はございませんか。

教育長

なければ、日程第 4、委員研修会に入ります。

事務局

～ (学校教育課長)「特別支援教育の現状について」講話～

教育長

以上で、委員研修会を終了します。

ほかに連絡等なければ、以上で本日の議事を全て終了したいと思います。

お諮りします。本日の議事録の字句の軽微な訂正等は、事務局に一任していただきたいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

全員

はい。

教育長

異議なしと認めます。よって、議事録の字句の軽微な訂正等は、事務局にご一任いただきました。以上で、令和 3 年第 8 回教育委員会定例会を終了いた

します。皆さまご苦勞様でした。

全員

ありがとうございました。